

## GW、久しぶりの神戸探訪

山里 将之

みなさん、こんにちは！  
貝塚聖書教会の山里将之です。

GW、皆さん、いかがお過ごしだったでしょうか。私は家族ぐるみで久しぶりに神戸を訪れてみました。一泊二日のご近所小旅行。このところ、京都、奈良、和歌山に出かける事が多かったのですが、久しぶりの神戸、楽しく過ごさせて頂きました。

初日は、とある有名な野外アスレチック系のテーマパークで、まるで鳥になったかのような体験が出来る、超特大のターザンロープ式の遊具に乗ってみたり、山の中でガンファイトを楽しんだり。翌日、さすがに筋肉痛・・・良い経験をさせて頂きました。

二日目はおとなしく、テーマパークに隣接の銭湯でのんびり過ごした後、神戸の町並みを散策。北野異人館街で、風見鶏の館やうろこの家などを訪ね、夜は中華街、南京町へ。コロナは、厳密にはまだ収まり切っているわけではないのですが、それでも久々に人出で賑わう町を楽しみました。



十数年ぶりに訪れた、うろこの家。

港町、神戸。どことなく、昔、かなりの年数、住んでいたことのある横浜と似た感じがして、私にとってはなんとなく懐かしいような気持ちにさせてくれる場所です。港町には「あるある」で、異国情緒豊かな雰囲気もまた良いですね。

教会も多く、カトリックやプロテスタントだけでなく、ハリスト教会（東方正教会）もあり、また私たちの国、日本では珍しいことかも知れませんが、ユダヤ教のシナゴグ（キリスト教でいうところの礼拝堂に相当）やイスラム教のモスクなどもあります。イエス・キリストに対する考え方の違いはあれど、同じく聖書を共有する、「啓典の民」。いわば、信仰上の親戚筋のような人々。一方で、それだけに、彼らもイエスをキリストとして受け入れて欲しい、という願いもひとしお。

久しぶりの神戸探訪を終え、心地よい疲れの中、あらためて、イエスがキリストである事を信じられる喜びと、この喜びが、すべての人に伝えられる事をあらためて願わされました。

それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名を与えられました。それは、イエスの名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが膝をかがめ、すべての舌が「イエス・キリストは主です」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。

新約聖書：ピリピ人への手紙 2章 9-11節